

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
剰余金の配当基準日	
期末配当	3月31日
中間配当	9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連 絡 先	〒541-8502
(お問合せ先)	大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料) 0120-094-777
公 告 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL <a href="http://www.g-7holdings.co.jp/">http://www.g-7holdings.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単 元 株 式 数	100株
上場金融商品取引所	東京証券取引所 大阪証券取引所 (証券コード7508)

### (ご注意)

- (1) 株券電子化にともない、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>



オートバックス・業務スーパーで躍進する  
**株式会社 G-7 ホールディングス**

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6  
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710



## 株 主 通 信

第35期 中間報告書  
平成21年4月1日～平成21年9月30日



オートバックス・業務スーパーで躍進する  
**株式会社 G-7 ホールディングス**

# 的確に時代の価値を捉えた、質の高い サービスで 各事業をさらに強化してまいります。

## Question 1

大きな転換期を迎えている社会にあって、当中間期における成果や業績の推移をお聞かせください。

### Answer

株主の皆様にご報告させていただきます。株主の皆様にご報告させていただきます。株主の皆様にご報告させていただきます。

当中間期は、おかげさまで売上高・利益とも過去最高となりました。これは、「ETC車載器やロングドライブ関連商品の需要が高まったこと」「内食傾向や節約志向で業務スーパーが堅調に売上を伸ばしたこと」「グループを挙げて積極的にコスト削減に取り組んだこと」が要因です。

その結果、当中間期の連結売上高は32,860百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益は1,105百万円(前年同期比188.6%増)、経常利益は1,145百万円(前年同期比184.0%増)、四半期純利益は599百万円(前年同期は四半期純損失43百万円)となりました。

## Question 2

高速道路の割引など、自動車を取り巻く環境が変化していますがオートボックス事業の今後の戦略は？

### Answer

適正在庫、適正人員、経費削減を行い粗利の上がる売づくりをめざす取り組みを行っております。まず、新車・中古車事業については取扱店舗を集中させ効率化を図るとともに、車販売を将来のお客様づくりの入口と位置づけ、サービスの充実に努めました。また、今年度はオートボックスの新規出店を凍結。粗利率増加のため、販売促進費や在庫の徹底削減、粗利率の高いメンテナンス事業の強化を推進してまいります。

車検需要を巡る競争は激しく、指定整備工場資格の取得を進め、車検入庫獲得の強化に取り組んでおります。今後さらに車検指定工場を増やし、車検を軸としたお客様との関係づくりを推進し、定期点検への取り組みも強化してまいります。

また、ロングドライブの増加によって、タイヤやオイル交換の需要増が予想されます。今後はマーケット情勢をにらみながら、兵庫県下で「タイヤ専門館」の店舗を増やす予定にしております。

## Question 3

新しい地域への出店など積極的な取り組みをされていますが食品・雑貨小売事業のこれからの展開は？

### Answer

業務スーパーにおきましては、消費者の節約志向が高まる中、店舗増のチャンスと捉え、特に中部地区において今年度5店舗以上の新規出店を計画しており、すでに愛知県内1店舗、岐阜県内1店舗を出店しました。また、関東地区への出店も推進し、業容の拡大を図ってまいります。

大手スーパーなどがPB商品を投入し、低価格戦略を積極的に推し進めています。

## Question 4

が、業務スーパーでは多くのお客様の支持を獲得し、売上増加に貢献している日本最安値に挑戦する値下げ戦略を、引き続き実施してまいります。

M&Aの推進などによって新分野の開発をめざしておられますが、将来に向けての展望は？

### Answer

平成20年6月に譲り受けた株式会社シーアンドシーは、こだわり食品の事業が売上に貢献しています。今後も、車関連、食品スーパー関連等の当事業のシナジー効果のある業種の積極的なM&Aに取り組んで成長をめざします。平成21年7月より、経営戦略企画室に事業・業態開発推進グループを設け、人材を投入し新規事業を推進しています。平成21年11月に、総合リユース事業(総合リサイクルショップ)へ参入し、収益の核となる事業に育てたいと考えております。

代表取締役会長 木下 守

代表取締役社長 金田 達三

## Question 5

通期の業績見通しは？

### Answer

当社グループを取り巻く経営環境はまだ厳しく、個人消費につきましては引き続き楽観できない状況となることが想定されます。いっそうの経営努力が求められますが、適正在庫、適正人員、経費削減を行い、粗利のあがる売づくりを行ってまいります。

なお、平成22年3月期(平成21年4月～平成22年3月)の連結業績は、売上高が前年比1.1%増の66,000百万円、営業利益が前年比36.0%増の1,800百万円、経常利益が前年比33.9%増の1,800百万円、当期純利益が前年比208.8%増の800百万円を計画しております。

今後とも株主の皆様には、ますますのご支援を賜りたくお願い申し上げます。

# より多くのお客様にサービスを提供するため ネットワークを拡充してまいります。

G-7ホールディングスは、暮らしに密着した事業を通して、質の高いサービスを提供しています。より快適なカーライフを提案する「オートボックス」では各種用品をはじめ、車体販売、車検、整備店などを運営し、日本のカーライフを支えます。またお得でお求めやすい商品をご提供する「業務スーパー」やバイクの専門店「バイクセブン」、「神戸粉もん七つの壺」など、地域に根付いたネットワークで、より多くの皆様に喜んでいただける店舗づくりを心がけてまいります。

## 九州地方

「業務スーパー」8店舗  
「バイクセブン」1店舗

## 中国地方

「オートボックス」3店舗

## 中部地方

「オートボックス」5店舗  
「早技車検」2店舗  
「業務スーパー」23店舗  
「バイクセブン」1店舗

## 近畿地方

「オートボックス」32店舗  
「スーパーオートボックス」2店舗  
「セコハン市場」1店舗  
「早技車検」17店舗  
「テクノキューブ」2店舗  
「クリスタルセブン」1店舗  
「セルフ式ガソリンスタンドG-1」1店舗

「業務スーパー」30店舗  
「バイクセブン」3店舗  
「タイヤ専門館」1店舗  
「神戸粉もん七つの壺」5店舗  
「おふくろの味めし屋」1店舗  
「TSUTAYA」4店舗

## 関東地方

「オートボックス」6店舗  
「テクノキューブ」1店舗  
「業務スーパー」22店舗  
「バイクセブン」2店舗  
「神戸粉もん七つの壺」1店舗

平成21年10月1日現在

## 社会的貢献活動を積極的に推進

### ① 「神戸9クルーズ」を支援。



G-7グループは地域振興活動として、6月より2009年度関西独立リーグ「神戸9クルーズ」公式戦チケットの前売り販売を兵庫県内の一部店舗で行いました。「神戸9クルーズ」は、神戸で誕生した球団です。地域に密着した社会貢献活動の一環として、販売手数料などは一切無しで、グループを挙げて支援を行っていきます。また、8月15日に開催した冠試合には神戸市内の少年野球チームを多数招待しました。このような活動を通じ、地域の皆様に大変喜んでいただけ、G-7グループのファンづくりに貢献しています。



### ② モータウン土山サーキットをオープン。

近年、若者の車離れが顕著になってきています。そこで子供のころから車に慣れ親しんで、車を好きになっていただき、さらには子供たちに夢を与えたいという思いから、レンタルサーキット場をモータウン土山にオープンしました。サーキットのプロデュースは鈴木亜久里さんで、ご自身もカートから始め、F1レーサーになりました。車の危険性や安全に対する意識を十分深めていただく交通安全教育実践の場にもなっています。大人も含め、このコースで自動車に対する理解を深めていただき、国民全体の運転技術向上のお役に立てればと思っています。



ホームページ：<http://mt-kart.com>

## 新店舗情報

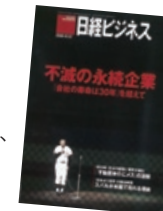
サンセブン、岐阜県内に  
「業務スーパー」1号店を開店。

サンセブンは、昨年末に岐阜県内において「業務スーパー」の独占出店を行う権利「エリアライセンス」を獲得し、同県内での出店を急いでいましたが、7月23日に岐阜県内では初めての出店となる「業務スーパー中鶉店」を開店いたしました。今後さらに岐阜県をはじめとする中部地区での出店を加速させてまいります。

## トピックス

日経ビジネス「不滅の永続企業」  
に掲載されました。

日経ビジネス10月12日号の特集「不滅の永続企業 絶えざる「変態」が衰退を防ぐ」の非製造業ランキングで、G-7ホールディングスが26位を獲得いたしました。この特集は、絶頂にある企業も、変化を厭えば衰退への坂道を転げ落ちる。再成長のために自ら事業を変態し、現在もなお成長を続ける企業を紹介する記事です。



## キャッチフレーズ

オートボックス・業務スーパーで躍進する  
株式会社 **G-7ホールディングス**

コーポレートキャッチフレーズを  
決定しました。

このたび、G-7ホールディングスは、「オートボックス・業務スーパーで躍進するG-7ホールディングス」をコーポレートキャッチフレーズとして使用することといたしました。今後、各種販促物等に掲載することにより、オートボックス・業務スーパーを中心に成長を続けている企業というイメージの浸透を図ってまいります。

## オートバックス事業

オートバックス事業につきましては、車検、整備を含むメンテナンスサービスやETC車載器およびポータブルナビゲーション、ロングドライブ関連商品の需要が好調に推移いたしました。また、販売管理費の削減を進め、商品在庫の適正化を行い、収益力の向上に努めました。店舗展開につきましては、今後予想されるロングドライブの増加にともなうタイヤ・オイル交換の需要増に対応すべく、三木店に「タイヤ専門館」を併設し、兵庫県内の競争力を強化させるため、西昆陽店を譲受け改装オープンいたしました。これにより、売上高は12,345百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は565百万円（前年同期比200.1%増）となりました。



## 新車・中古車事業

新車・中古車事業につきましては、世界的な景気後退による自動車販売市場の需要の減少を受ける中、当社は、事業の効率化を図るため収益力の高い店舗に集約し、在庫の適正化および販売管理費の抑制に努めました。これにより、売上高は647百万円（前年同期比56.1%減）、営業利益は1百万円（前年同期は営業損失95百万円）となりました。

## 食品・雑貨小売事業

食品・雑貨小売事業につきましては、節約志向がいつそう強まる中、「業務スーパー」では、日本最安値に挑戦する値下げ戦略を実施し、消費者の支持を受け好調に推移しました。また、低価格の生鮮食料品をさらに充実させるなど、集客力の高い店づくりに取り組みました。新規出店につきましては、愛知県内にモール9番街店、岐阜県内にエリア第1号店となる中鶏店をオープンいたしました。これにより売上高は16,415百万円（前年同期比4.8%増）、営業利益は490百万円（前年同期比39.6%増）となりました。



## 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、企業の経費削減にともなう移転や統合により空室率の上昇や賃料水準の下落傾向が続いている中、安定的なテナントの確保に努めたものの売上高は412百万円（前年同期比1.3%減）となりました。しかしながら、コスト削減により営業利益は162百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

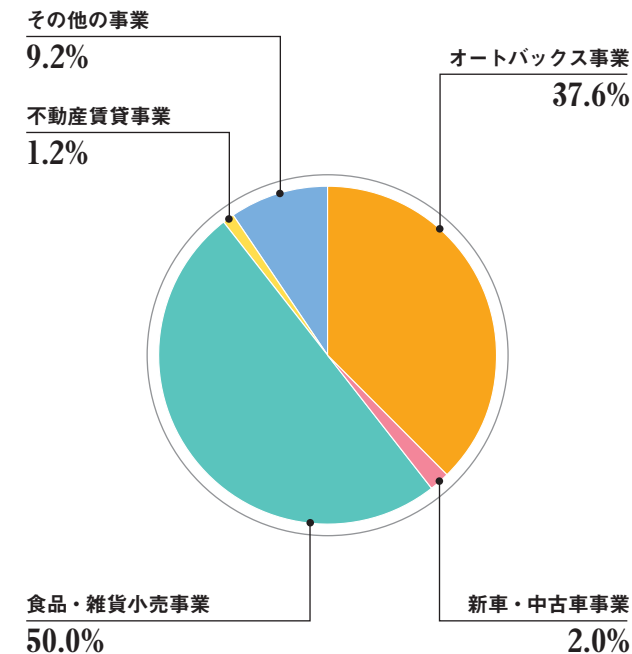
## その他の事業

その他の事業につきましては、厳選食品の卸販売を行う「こだわり食品」が堅調に推移しました。これにより売上高は3,038百万円（前年同期比34.8%増）となりましたが、これまでのバイクセブンの新規出店にともなう設備投資などの償却負担等により、営業利益は改善したものの、営業損失は40百万円（前年同期は営業損失91百万円）となりました。



## 事業別売上高構成比

(平成21年4月1日～平成21年9月30日)



## 業績の推移

(単位:百万円)

	第33期中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	第34期中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	第35期中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	第33期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)	第34期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで)
売上高	30,275	31,511	32,860	61,829	65,297
経常利益	468	403	1,145	1,308	1,344
中間(当期)純利益又は純損失	20	△43	599	391	259

連結貸借対照表(要旨)

科目	前中間期	当中間期	前期
	(平成20年9月30日現在)	(平成21年9月30日現在)	(平成21年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	8,178	10,334	10,363
固定資産	15,087	14,440	14,626
有形固定資産	10,892	10,510	10,712
無形固定資産	678	541	604
投資その他の資産	3,515	3,388	3,309
資産合計	23,265	24,775	24,990

(単位:百万円)

科目	前中間期	当中間期	前期
	(平成20年9月30日現在)	(平成21年9月30日現在)	(平成21年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	11,884	11,405	10,873
固定負債	3,240	4,483	5,729
負債合計	15,124	15,889	16,602
(純資産の部)			
株主資本	8,634	9,404	8,870
資本金	1,785	1,785	1,785
資本剰余金	2,717	2,717	2,717
利益剰余金	4,175	4,945	4,412
自己株式	△44	△44	△44
評価・換算差額等	△520	△518	△520
少数株主持分	26	—	37
純資産合計	8,140	8,885	8,387
負債純資産合計	23,265	24,775	24,990

連結損益計算書

科目	当中間期	前中間期
	(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)
売上高	32,860	31,511
売上原価	24,050	23,368
売上総利益	8,809	8,143
販売費及び一般管理費	7,703	7,760
営業利益	1,105	383
営業外収益	138	144
営業外費用	98	124
経常利益	1,145	403
特別利益	—	12

(単位:百万円)

科目	当中間期	前中間期
	(平成21年4月1日から平成21年9月30日まで)	(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)
特別損失	14	219
税金等調整前中間純利益	1,131	196
法人税等	540	234
少数株主利益又は少数株主損失	△8	4
中間純利益又は純損失	599	△43

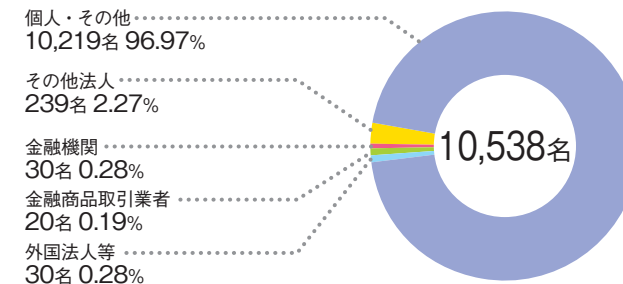
株式の状況(平成21年9月30日現在)

発行可能株式総数 52,000,000株  
 発行済株式の総数 13,336,400株  
 株主数 10,538名  
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	出資比率
木下 守	2,100 <sup>千株</sup>	15.86%
有限会社キノシタファミリーサービス	1,944	14.69
木下 智雄	1,829	13.82
関 稚奈巳	1,129	8.52
木下 陽子	826	6.24
株式会社オートボックスセブン	337	2.54
茂 理佳弘	176	1.33
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	164	1.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	110	0.83
塚 本 富 途	101	0.76

(注) 1. 出資比率は自己株式数(95,315株)を控除して算出しております。  
 2. 出資比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

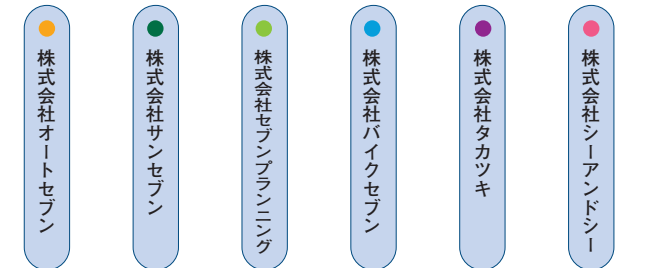
所有者別株主分布(平成21年9月30日現在)



会社の概況(平成21年9月30日現在)

商号 株式会社G-7ホールディングス  
 G-7 HOLDINGS Inc.  
 設立 昭和51(1976)年6月18日  
 資本金 17億8,570万円  
 代表者 代表取締役会長 木下 守  
 代表取締役社長 金田 達三  
 本社 神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6  
 事業内容 傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社  
 従業員数 1,149名(グループ計)  
 ホームページ <http://www.g-7holdings.co.jp/>

グループ企業



役員の状況(平成21年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	木下 守	取締役	福田 弘
取締役社長 (代表取締役)	金田達三	取締役	奥本恵一
専務取締役	木下智雄	監査役(常勤)	池谷秀人
取締役	岸本安正	監査役	上甲悌二
取締役	松田幸俊	監査役	西井博生

(注) 1. 取締役 小林宏至氏は、社外取締役であります。  
 2. 監査役 池谷秀人、上甲悌二、西井博生の各氏は、社外監査役であります。

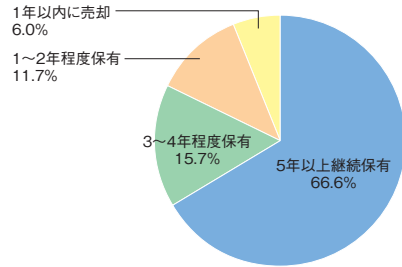
株主様アンケート集計結果の一部をお知らせします。

平成21年6月に実施いたしました株主様アンケートに数多くの株主の皆様のご協力をいただき誠にありがとうございました。発送総数8,358通、アンケート回答数6,892通、回収率82.5%の結果となりました。集計の結果およびご意見につきましては、これを真摯に受け止め、事業に反映させていきたいと考えております。

ご要望・ご意見など(一部)

- 配当や株主優待などの充実は評価できるが、あまり重点をおきすぎず、将来のための投資に使い、拡大・成長を図ってほしい。
- 中長期的視野に基づいた顧客満足度の高い製品や事業に特化して、さらなる企業成長をめざすことを期待します。
- 内需拡大が期待できない中、今後はアジアを中心とした新興国の需要をいかに取り込めるかが成長の鍵となるでしょう。グローバルな展開を期待しています。
- 長期保有のつもりでいます。含み損はありますが、業績の回復を期待しています。

当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください。



5年以上継続保有の方のうち、保有方針選択の理由として、株価の上昇を期待が27.5%、成長性・将来性を評価27.5%、会社のファンだから19.9%、含み損状態にあるため10.7%、含み損が出ているため1.2%、株価の上昇が期待できない0.9%、成長性・将来性が評価できない0.7%、その他11%となりました。

株主優待

優待内容

「オートボックス」、「スーパーオートボックス」などご利用いただけるお買物優待券(300円値引)を送付いたします。1回のお買上げ金額1,000円毎に1枚ご利用いただけます。

- 1,000株以上ご所有の株主様……優待券50枚(半期)
- 500株以上ご所有の株主様……優待券25枚(半期)
- 100株以上ご所有の株主様……優待券8枚(半期)

(ご注意)

消費税はお買上げいただきました商品本体の価格の総額(優待券の値引前の金額)に対して課税されます。優待券の有効期限は1年間です。

対象株主

毎年3月31日および9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された100株以上ご所有の株主様です。

利用店舗

「オートボックス」、「スーパーオートボックス」、「オートボックス 走り屋天国セコハン市場」、「オートボックス・エクスプレス」、「オートハローズ」、「テクノキューブ」の国内各店舗でご利用いただけます。ただし、海外店舗ではご利用になれません。詳しくは、優待券裏面をご参照ください。



おすすめ商品

(株)オートセブン

ETCの取り付けはもうお済みですか?不足していたETC車載器が入荷。大好評販売中です。高速道路を使つてのロングドライブをお考えのお客様はぜひ、お近くのオートボックスへおこしください。



三菱電機 MITSUBISHI EP-536BA アンテナ一体型ETC車載器 7,980円  
フロントガラス取り付け専用タイプの小型ボディ アンテナ内蔵一体型で音声案内機能付き12V/24V電源対応ETC車載器。  
※この他にもたくさん取り揃えております。

おすすめ商品

(株)サンセブン

業務スーパーは、「食卓応援&爆弾価格」で続々値下げ商品を追加、日本一の最安値に挑戦しています。売り切れごめん、業務スーパー自慢の商品をご紹介します。



業務スーパー 釜飯の素 (215g 85円)  
竹の子・しいたけ・にんじん、コンニャク・きくらげの食感。ご存知、ご飯を炊く際に加えるだけ。お好みにより、鶏肉や油揚げ、ごぼうなどを加えていただきますというそう美味しく召し上がっていただけます。美味しい!安い!簡単!三拍子そろったおすすめ商品です。



業務用おでん (1,150g 298円)  
業務用と、うたってはいますが、たまご・大根・昆布・しらたき、コンニャク・鶏きんちゃく・しいたけと、7品目が各3個づつ。要するに3人前!沸騰したお湯にいれ5分でOK。これからの季節にピッタリです。人気者のおでんをプロの味に仕上げた自慢の品です。もちろん、日本最安値!

おすすめ商品

(株)タカツキ スズキアリーナ摂津



スズキ NewパレットSW XS 1,428,000円(税込み)  
重量税・取得税50%減税車。XSはエコカー補助金、エコカー減税の対象となっていますので、今がお買得。  
13年経年車の廃車をともなう新車購入でしたら、パレット全車補助金対象(12.5万円)になります。  
※諸費用別途必要

株主通信をご覧になってご購入していただいた方にはお得なサービスもご用意しました。

- ①ETC(セットアップ・取付工賃込) プレゼント!
  - ②フロアマット・ドアバイザー プレゼント!
- ぜひこの機会に宜しくお願いたします。

お問合せ先  
株式会社 タカツキ スズキアリーナ摂津  
〒566-0062 大阪府摂津市鳥飼上4-1-46  
TEL 0120-508-084 FAX 072-650-3011

WEBサイト

ホームページからの車検予約について



ホームページから車検の予約ができます。(株)オートセブンが運営する早技車検のホームページからお申込みください。  
(http://hayawaza.jp/)

※インターネットで早技車検の予約ができるのは、以下のオートボックス各店舗です。  
西宮店・伊丹店・神戸三田インター店・兵庫中之島店・玉津店・学園南店・塩屋北店・西脇店・三木大村店・高砂店・加古川店・NEW土山店・姫路西店・ふくさき店・西昆陽店・猪名川店・福井北店・さばえ店・スーパーオートボックス姫路店・テクノキューブ亀岡店・テクノキューブ野田梅郷店